

ADHD（注意欠如多動性障害）の特性

ADHD（注意欠如多動性障害）とは、文科省によると、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、および／または衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものと定義しています。

不注意

- ・口頭での指示を聞き漏らすことが多い。
- ・整理整頓が苦手で、物をよこなくす。
- ・注意が長く続かず、途中であきらめてしまう。

多動性

- ・座っていても落ち着かず、手足を動かす。
- ・順番が待てず、いらいらすることがある。
- ・しゃべりすぎるところがある。

衝動性

- ・他人に口をはさんで、会話の邪魔をする。
- ・質問が終わる前に、答えてしまう。
- ・周りの音などにすぐに反応してしまう。

このような行動は、中枢神経系の機能不全によるものとされています。

